



## 2020年5月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年7月14日

上場会社名 株式会社アイケイ  
 コード番号 2722 URL <https://www.ai-kei.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO (氏名) 飯田 裕  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理統括 (氏名) 高橋 伸宜  
 定時株主総会開催予定日 2020年8月20日 配当支払開始予定日 2020年8月21日  
 有価証券報告書提出予定日 2020年8月21日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

上場取引所 東名

TEL 052-856-3101

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年5月期の連結業績(2019年6月1日～2020年5月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年5月期	18,483	4.9	590	36.9	623	42.5	384	61.3
2019年5月期	17,614	3.9	431	51.9	437	51.3	238	62.9

(注) 包括利益 2020年5月期 393百万円 (64.3%) 2019年5月期 239百万円 (62.6%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年5月期	52.19	51.94	14.0	8.8	3.2
2019年5月期	31.85		9.1	6.7	2.5

(参考) 持分法投資損益 2020年5月期 百万円 2019年5月期 百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年5月期	7,369	2,809	38.0	385.34
2019年5月期	6,818	2,688	39.4	359.61

(参考) 自己資本 2020年5月期 2,797百万円 2019年5月期 2,688百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年5月期	712	374	139	802
2019年5月期	722	275	852	542

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年5月期		0.00		12.00	12.00	89	37.7	3.4
2020年5月期		0.00		12.00	12.00	87	23.0	3.2
2021年5月期(予想)		0.00		12.00	12.00			

### 3. 2021年5月期の連結業績予想(2020年6月1日～2021年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,579	8.7	256	41.1	257	42.3	167	52.7	23.10
通期	19,268	4.2	659	11.6	661	6.0	375	2.3	51.69

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年5月期	7,808,000 株	2019年5月期	7,808,000 株
期末自己株式数	2020年5月期	549,100 株	2019年5月期	330,900 株
期中平均株式数	2020年5月期	7,359,385 株	2019年5月期	7,477,100 株

(参考)個別業績の概要

2020年5月期の個別業績(2019年6月1日～2020年5月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年5月期	12,043	9.1	174	58.9	240	48.3	150	46.9
2019年5月期	13,252	9.0	424	28.4	466	0.0	282	17.7

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年5月期	20.41	20.30
2019年5月期	37.81	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年5月期	6,199	2,356	37.9	323.93
2019年5月期	6,199	2,430	39.2	325.00

(参考) 自己資本 2020年5月期 2,351百万円 2019年5月期 2,430百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想数値及び将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、経営環境の変化等により、本資料の予想数値又は将来に関する記述と異なる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(セグメント情報等) .....	12
(1株当たり情報) .....	15
(重要な後発事象) .....	15
4. その他 .....	16

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善などを背景に緩やかな回復基調で推移してまいりましたが、米中貿易摩擦の深刻化や英国のEU離脱などの問題に加え、世界的な広がりを見せる新型コロナウイルスの世界経済への影響が懸念されるなど、景気失速傾向が強まり不透明感が増してまいりました。また、個人消費も、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う外出の自粛などから消費マインドが冷え込み厳しい状況が続きました。

このような環境の下、当社グループはリーディングカンパニーの最大条件を「ファンが多さ」と定義づけ、経営理念であります「ファンづくり」の実現化を実践しております。

BtoC事業では、テレビショッピングにおいて「ステップエイト(場所に合わせて8通りに変化する脚立)」、「スピードヒート温熱ベスト」などが売上増に大きく貢献したことから、新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、店舗を休業しておりましたSKINFOOD店舗の売上減を十分に吸収いたしました。

BtoBtoC事業では、マーケティングメーカーとして確固たる基盤を築くため、売上高に占める自社開発商品比率を40%まで高めることとし、自社開発商品の開発に注力してまいりました。販売ルート別の売上高では、生協ルート、店舗ルート、海外ルートにおいて前年実績を上回りました。

その他では、チャットシステム「M-Talk」の売上拡大に注力いたしましたほか、主力商品であります音声通話録音システム「Voistore」の販売にも注力してまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高184億83百万円（前期比4.9%増）、営業利益5億90百万円（前期比36.9%増）、経常利益6億23百万円（前期比42.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益3億84百万円（前期比61.3%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。（売上は外部顧客への売上高を記載しております）

なお、当連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年比較につきましては、前年期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。詳細につきましては、（セグメント情報等）に記載のとおりであります。

- ・ BtoC事業

セグメントの売上高は66億56百万円（前年同期比11.1%増）となり、営業利益は3億59百万円（前年同期比482.3%増）となりました。

- ・ BtoBtoC事業

セグメントの売上高は115億39百万円（前年同期比1.6%増）となり、営業利益は1億76百万円（前年同期比49.4%減）となりました。

- ・ その他

セグメントの売上高は2億87百万円（前年同期比6.8%増）となり、営業利益は3百万円（前年同期比2.4%減）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産)

当連結会計年度末の流動資産につきましては前連結会計年度末に比べ527百万円増加しました。主な流動資産の変動は、「現金及び預金」が260百万円、「受取手形及び売掛金」が410百万円それぞれ増加したこと、「商品及び製品」が209百万円減少したことによります。

当連結会計年度末の固定資産につきましては前連結会計年度末に比べ23百万円増加しました。主な固定資産の変動は、「有形固定資産」が15百万円、「無形固定資産」が42百万円それぞれ増加したこと、「投資その他の資産」が34百万円減少したことによります。

この結果、当連結会計年度末の総資産は7,369百万円となり、前連結会計年度末と比べ550百万円増加しました。

#### (負債)

当連結会計年度末の流動負債につきましては前連結会計年度末に比べ40百万円減少しました。主な流動負債の変動は、「1年以内返済予定の長期借入金」が226百万円、「その他」が105百万円、「未払法人税等」が64百万円、「買掛金」が60百万円それぞれ増加したこと、「短期借入金」が560百万円減少したことによります。

当連結会計年度末の固定負債につきましては前連結会計年度末に比べ470百万円増加しました。主な固定負債の変動は、「長期借入金」が432百万円増加したことによります。

この結果、当連結会計年度末の負債は4,559百万円となり、前連結会計年度末と比べ430百万円増加しました。

#### (純資産)

当連結会計年度末の純資産につきましては前連結会計年度末に比べ120百万円増加しました。主な純資産の変動は、「利益剰余金」が248百万円増加したこと、「自己株式」が148百万円増加したことによります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、802百万円（前年同期は542百万円）となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動における資金の増加は712百万円（前年同期は722百万円の減少）であります。主な資金の増加要因は、税金等調整前当期純利益583百万円、減価償却費199百万円、たな卸資産の減少243百万円であります。また主な資金の減少要因は、売上債権の増加418百万円となっております。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動における資金の減少は374百万円（前年同期は275百万円の減少）であります。主な資金の減少要因は、有形固定資産の取得による支出210百万円、事業譲受による支出80百万円であります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動における資金の減少は139百万円（前年同期は852百万円の増加）であります。主な資金の増加要因は、長期借入による収入1,250百万円であります。また主な資金の減少要因は、短期借入金の純減額560百万円、長期借入金の返済による支出591百万円、自己株式の取得により支出149百万円、配当金の支払額88百万円であります。

## (4) 今後の見通し

今後の経済動向は、新型コロナウイルスの感染拡大や第2波・第3波の発生が想定される中、世界経済は長期的な景気悪化が懸念されております。

当社グループは、このような環境下の中、外出自粛や店舗休業による売上高の減少影響を受ける業態がある一方、巣籠りと言われる生活環境の中でもショッピングが楽しめるTVショッピング、WEBショッピング、生活協同組合などの販売ルートがありますことから、これら生活環境に適した販売ルートでの売上確保のため、「美しく生きる・健康に生きる・楽しく生きる」をキーワードとした自社開発商品（プライベートブランド商品）の開発に一層注力し、収益力を高めてまいります。

次期の通期連結業績予想は、売上高192億68百万円、営業利益6億59百万円、経常利益6億61百万円、親会社株主に帰属する当期純利益3億75百万円を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、IFRS(国際財務報告基準)の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応をしていく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当連結会計年度 (2020年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	410,524	670,610
受取手形及び売掛金	2,766,254	3,176,295
有価証券	131,602	132,270
商品及び製品	2,044,917	1,835,551
原材料及び貯蔵品	9,743	16,836
その他	385,012	438,631
貸倒引当金	△6,683	△1,269
流動資産合計	5,741,372	6,268,927
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	350,605	345,443
減価償却累計額	△168,964	△168,308
建物及び構築物 (純額)	181,641	177,134
土地	80,216	80,216
その他	274,739	384,859
減価償却累計額	△171,885	△261,674
その他 (純額)	102,854	123,185
有形固定資産合計	364,712	380,536
無形固定資産		
のれん	6,100	55,000
その他	115,201	108,722
無形固定資産合計	121,301	163,722
投資その他の資産		
投資有価証券	141,158	91,252
長期貸付金	166,922	142,881
繰延税金資産	72,674	116,071
差入保証金	174,844	169,932
その他	46,544	47,996
貸倒引当金	△11,155	△12,123
投資その他の資産合計	590,990	556,011
固定資産合計	1,077,004	1,100,271
資産合計	6,818,376	7,369,198

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当連結会計年度 (2020年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,094,223	1,154,701
短期借入金	600,000	40,000
1年内返済予定の長期借入金	543,888	769,960
未払金	577,451	632,635
未払法人税等	103,507	167,543
賞与引当金	39,068	43,465
返品調整引当金	23,070	26,833
その他	142,023	247,332
流動負債合計	3,123,232	3,082,472
固定負債		
長期借入金	742,643	1,175,519
退職給付に係る負債	109,745	124,750
役員退職慰労引当金	142,700	—
その他	11,235	176,825
固定負債合計	1,006,325	1,477,094
負債合計	4,129,557	4,559,566
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	401,749	401,749
資本剰余金	404,089	409,800
利益剰余金	1,917,233	2,166,201
自己株式	△36,233	△184,275
株主資本合計	2,686,838	2,793,476
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,980	5,127
為替換算調整勘定	—	△1,468
その他の包括利益累計額合計	1,980	3,659
新株予約権	—	4,849
非支配株主持分	—	7,645
純資産合計	2,688,819	2,809,631
負債純資産合計	6,818,376	7,369,198

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年6月1日 至 2019年5月31日)	当連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)
売上高	17,614,980	18,483,995
売上原価	9,637,032	9,581,530
売上総利益	7,977,948	8,902,464
返品調整引当金繰入額	23,070	26,833
返品調整引当金戻入額	19,966	23,070
差引売上総利益	7,974,844	8,898,701
販売費及び一般管理費	7,543,089	8,307,787
営業利益	431,754	590,914
営業外収益		
受取利息	3,510	2,521
受取配当金	1,999	1,920
受取手数料	5,203	2,424
受取家賃	1,080	1,080
助成金収入	—	32,863
その他	1,396	3,154
営業外収益合計	13,189	43,964
営業外費用		
支払利息	6,669	8,074
為替差損	434	2,988
その他	4	65
営業外費用合計	7,107	11,127
経常利益	437,836	623,750
特別利益		
抱合せ株式消滅差益	—	711
特別利益合計	—	711
特別損失		
固定資産除却損	2,708	10,440
投資有価証券評価損	3,371	—
減損損失	24,401	30,818
特別損失合計	30,481	41,258
税金等調整前当期純利益	407,354	583,204
法人税、住民税及び事業税	167,473	237,395
法人税等調整額	1,700	△44,788
法人税等合計	169,174	192,607
当期純利益	238,180	390,597
非支配株主に帰属する当期純利益	—	6,532
親会社株主に帰属する当期純利益	238,180	384,064

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年6月1日 至 2019年5月31日)	当連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)
当期純利益	238,180	390,597
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,276	3,147
為替換算調整勘定	—	△252
その他の包括利益合計	1,276	2,894
包括利益	239,457	393,491
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	239,457	387,043
非支配株主に係る包括利益	—	6,448

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年6月1日 至 2019年5月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	401,749	404,089	1,753,823	△36,233	2,523,428
当期変動額					
剰余金の配当			△74,771		△74,771
親会社株主に帰属する当期純利益			238,180		238,180
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	163,409	—	163,409
当期末残高	401,749	404,089	1,917,233	△36,233	2,686,838

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	704	704	2,524,133
当期変動額			
剰余金の配当			△74,771
親会社株主に帰属する当期純利益			238,180
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1,276	1,276	1,276
当期変動額合計	1,276	1,276	164,686
当期末残高	1,980	1,980	2,688,819

当連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	401,749	404,089	1,917,233	△36,233	2,686,838
当期変動額					
剰余金の配当			△89,725		△89,725
親会社株主に帰属する当期純利益			384,064		384,064
自己株式の取得				△149,968	△149,968
自己株式の処分		5,711		1,927	7,638
連結範囲の変動			△45,370		△45,370
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	5,711	248,968	△148,041	106,638
当期末残高	401,749	409,800	2,166,201	△184,275	2,793,476

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利 益累計額合計			
当期首残高	1,980	—	1,980	—	—	2,688,819
当期変動額						
剰余金の配当						△89,725
親会社株主に帰属する当期純利益						384,064
自己株式の取得						△149,968
自己株式の処分						7,638
連結範囲の変動						△45,370
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	3,147	△1,468	1,678	4,849	7,645	14,174
当期変動額合計	3,147	△1,468	1,678	4,849	7,645	120,812
当期末残高	5,127	△1,468	3,659	4,849	7,645	2,809,631

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年6月1日 至 2019年5月31日)	当連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	407,354	583,204
減価償却費	141,336	199,184
減損損失	24,401	30,818
のれん償却額	20,688	5,762
株式報酬費用	—	10,411
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	6,502	△4,446
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△6,260	4,396
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	13,579	15,004
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	—	△142,700
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	3,104	3,763
投資有価証券評価損益 (△は益)	3,371	—
受取利息及び受取配当金	△5,509	△4,442
支払利息	6,669	8,074
為替差損益 (△は益)	△347	2,656
固定資産除却損	2,708	10,440
抱合せ株式消滅差損益 (△は益)	—	△711
売上債権の増減額 (△は増加)	△87,835	△418,266
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△520,873	243,143
仕入債務の増減額 (△は減少)	△337,400	65,694
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△53,331	53,331
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△48,170	76,574
未払金の増減額 (△は減少)	△31,108	40,688
その他の資産の増減額 (△は増加)	136,550	△145,315
その他の負債の増減額 (△は減少)	△43,209	180,833
その他	—	△194
小計	△367,779	817,904
利息及び配当金の受取額	5,127	4,187
利息の支払額	△6,944	△8,232
法人税等の支払額	△353,009	△172,304
法人税等の還付額	—	71,272
営業活動によるキャッシュ・フロー	△722,605	712,827
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△144,169	△210,422
無形固定資産の取得による支出	△39,881	△36,988
関係会社株式の取得による支出	△29,715	—
貸付けによる支出	△98,700	△64,300
貸付金の回収による収入	44,556	8,071
差入保証金の差入による支出	△9,673	△10,624
差入保証金の回収による収入	2,258	15,485
事業譲受による支出	—	△80,338
その他	△315	5,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△275,639	△374,117
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	391,033	△560,000
長期借入れによる収入	1,100,000	1,250,000
長期借入金の返済による支出	△563,816	△591,052
配当金の支払額	△73,645	△88,390
自己株式の取得による支出	—	△149,968
その他	△1,099	△457
財務活動によるキャッシュ・フロー	852,472	△139,868

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年6月1日 至 2019年5月31日)	当連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	49	△2,909
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△145,723	195,931
現金及び現金同等物の期首残高	687,850	542,126
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	51,510
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	13,311
現金及び現金同等物の期末残高	542,126	802,880

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当連結会計年度より、当社のビジネスモデルであります「マーケティングメーカー」を展開するにあたり、経営スピードの向上、成長事業への集中投資等が当社グループの成長に必要であること、また、投資家の皆様に当社グループの事業についてご理解を促進する為に、報告セグメントの括り直しを行い、従来の「メーカーベンダー事業」、「SKINFOOD事業」及び「ITソリューション事業」の3区分から「BtoC事業」、「BtoBtoC事業」及び「その他」の3区分に変更しております。

なお、前連結会計期間のセグメント情報は、報告セグメント変更後の区分に基づき作成したものを開示しております。

「BtoC事業」・・・TVショッピング、インターネットショッピング、有店舗でのSKINFOOD化粧品販売等の小売事業

「BtoBtoC事業」・・・生活協同組合、通信販売会社、小売店舗、海外パートナー企業等への卸売事業

「その他」・・・チャットシステム、音声通話録音システムの販売等

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している会計処理基準に基づく金額により記載しております。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高又は振替高は市場実勢価格に基づいております。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年6月1日 至 2019年5月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1, 2	連結 財務諸表 計上額 (注)3
	BtoC 事業	BtoBtoC 事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,991,319	11,354,758	268,902	17,614,980	—	17,614,980
セグメント間の内部売上高又は振替高	292,691	261,106	—	553,797	△553,797	—
計	6,284,010	11,615,864	268,902	18,168,778	△553,797	17,614,980
セグメント利益	61,800	349,748	3,407	414,955	16,799	431,754
セグメント資産	1,759,796	6,076,391	75,202	7,911,391	△1,093,014	6,818,376
その他の項目						
減価償却費	90,546	50,146	643	141,336	—	141,336
のれん償却額	9,917	10,770	—	20,688	—	20,688
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	130,686	54,232	728	185,648	—	185,648

(注) 1. セグメント利益の調整額16,799千円は、連結消去に伴う調整額であります。

2. セグメント資産の調整額△1,093,014千円は、セグメント間債権債務の消去額であります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1, 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	BtoC 事業	BtoBtoC 事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,656,854	11,539,973	287,167	18,483,995	—	18,483,995
セグメント間の内部売上高又は振替高	272,325	463,378	—	735,703	△735,703	—
計	6,929,180	12,003,351	287,167	19,219,699	△735,703	18,483,995
セグメント利益	359,853	176,906	3,326	540,085	50,828	590,914
セグメント資産	1,963,096	6,150,138	82,773	8,196,007	△826,809	7,369,198
その他の項目						
減価償却費	131,945	66,371	867	199,184	—	199,184
のれん償却額	—	5,762	—	5,762	—	5,762
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	194,932	52,830	845	248,608	—	248,608

(注) 1. セグメント利益の調整額50,828千円は、連結消去に伴う調整額であります。

2. セグメント資産の調整額△826,809千円は、セグメント間債権債務の消去額であります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 【関連情報】

前連結会計年度 (自 2018年6月1日 至 2019年5月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2018年6月1日 至 2019年5月31日）

(単位：千円)

	BtoC事業	BtoBtoC 事業	その他	全社・消去	合計
減損損失	8,960	15,441	—	—	24,401

当連結会計年度（自 2019年6月1日 至 2020年5月31日）

(単位：千円)

	BtoC事業	BtoBtoC 事業	その他	全社・消去	合計
減損損失	25,481	5,337	—	—	30,818

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2018年6月1日 至 2019年5月31日）

(単位：千円)

	BtoC事業	BtoBtoC 事業	その他	全社・消去	合計
当期償却額	9,917	10,770	—	—	20,688
当期末残高	—	6,100	—	—	6,100

(注) BtoC事業において、のれんの減損損失6,611千円、BtoBtoC事業において、のれんの減損損失15,441千円を、計上しております。

当連結会計年度（自 2019年6月1日 至 2020年5月31日）

(単位：千円)

	BtoC事業	BtoBtoC 事業	その他	全社・消去	合計
当期償却額	—	5,762	—	—	5,762
当期末残高	—	55,000	—	—	55,000

(注) BtoBtoC事業において、のれんの減損損失5,337千円を、計上しております。

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2018年6月1日 至 2019年5月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2019年6月1日 至 2020年5月31日）

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年6月1日 至 2019年5月31日)	当連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)
1株当たり純資産額 (円)	359.61	385.34
1株当たり当期純利益金額 (円)	31.85	52.19
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額 (円)	—	51.94

- (注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載していません。
2. 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年6月1日 至 2019年5月31日)	当連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)
(1) 1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益金額 (千円)	238,180	384,064
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額 (千円)	238,180	384,064
普通株式の期中平均株式数 (株)	7,477,100	7,359,385
(2) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額 (千円)	—	—
普通株式増加数 (株)	—	35,218
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

- (注) 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

#### 4. その他

##### (1) 役員の変動

###### ①代表取締役の変動

該当事項はありません。

###### ②その他の取締役の変動

###### 1. 新任取締役候補

取締役(監査等委員) 菅生 新(現 ㈱エグゼクティブ代表取締役、㈱ニューイング代表取締役)

(注) 菅生 新は、社外取締役の候補であります。

###### 2. 退任予定取締役

取締役(監査等委員) 櫻井 由美子

###### ③就任及び退任予定日

2020年8月20日